

市営地下鉄駅前で自衛隊をPR

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長平原1陸尉）は、7月12日（土）から14日（月）までの3日間、横浜市営地下鉄駅前（センター北駅、中山駅、あざみ野駅）で市街地広報を行った。

最近の募集環境は、雇用情勢の好転により県内の求人倍率が上昇するなど、自衛隊にとって厳しいものとなっている。そこで、職業選択の一つに加えてもらうため、JR、東急、横浜市営地下鉄の3線が乗り入れ、1日平均10万人を超える乗降者があるセンター北駅等で学校帰りの学生をターゲットに、自衛官の採用について汗だくになって説明した。

市ヶ尾募集案内所は、「厳しい募集環境の中、あらゆる募集手段を取り入れ、今年の募集目標達成のため所員一丸となって頑張っていきたい」としている。



横浜市営地下鉄中山駅等で
市街地広報

JR桜木町駅前で市街地広報

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長竹崎1陸尉）は、7月15日（火）、JR桜木町駅前（横浜市中区）において市街地広報を行った。

駅前で陸・海・空の制服姿の広報官がパンフレット等を配布する一方、応援に駆け付けた自衛官募集相談員3名と基地モニター1名が通行人に声を掛けるとともに説明場所に案内し、広報官が自衛隊の制度説明及びアンケートを行った。

横浜中央募集案内所は「今後も自衛官募集相談員等と連携しつつ、積極的に募集活動を行い、適質な自衛官の獲得に邁進していく」としている。



桜木町駅前で市街地広報

